

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



中学生模擬議会を開催

9月定例会のあらまし

詳細については16ページ

9月定例会は9月4日から18日間の会期で開催されました。
町長より議案13件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり可決・承認されました。
一般質問は12名の議員が、2日間にわたり行いました。



平成24年度各会計補正予算などを可決・・・P2～P3

平成23年度各会計決算を認定・・・P6～P7

町政を問う 議員12名が一般質問・・・P8～P14

9月定例会

酒々井町防災会議条例及び酒々井町
災害対策本部条例の一部を改正

一般会計補正予算など13議案可決



プリミール酒々井駐車場の増設工事及び植栽整備等を行います。

平成24年9月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について
◇酒々井町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

国において、東日本大震災から得られた教訓を今後に生かし、災害対策の強化を図るため、災害対策基本法が改正され、公布されたことに伴い改正しようとするものです。

◇一般会計補正予算
(第3号)

補正の主な内容は、エコトピア酒々井増築による地域住民との交流スペースの整備に伴う補助金、成田赤十字病院に対する医療機器整備補助金、通学路の安全確保のための交通安全施設工事費、総合公園テニスコートの改修工事、小中学校太陽光発電設備設計委託、プリミール酒々井の駐車場増設工事及び植栽整備等です。

特別会計

◇国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では償還金を、歳入では繰越金を増額するも

のです。

◇下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では分担金及び負担金、繰入金及び繰越金を、歳出では総務費及び下水道事業費を増額するものです。

◇介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成23年度事業の確定に伴う補正であり、歳入では支払基金交付金、繰越金、諸収入を増額し、介護従事者処遇改善臨時特例基金繰入金を減額し、歳出では基金積立金、償還金、一般会計繰出金を増額するものです。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では繰越金を増額し、歳出では納付金と諸支出金を増額するものです。

◇財産の取得について

酒々井町消防団第12分団飯積及び第13分団伊籬新田に配備している消防小型動力ポンプ、また消防団第7分団尾上及び第13分団伊籬新田の積載車の老朽化に伴い更新するもので、制限付一般競争入札を実施した結果、大成産業株式会社が落札し、同

社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇富里市道路線の認定の承諾について

市道路線区域の一部が酒々井町行政区域内のため、富里市から市道路線の認定の承諾を求められているので、議会の議決を求めるものです。

◇工事請負契約の変更について

小中学校エアコン設置工事の工事請負契約について、設計内容に変更があり、フィデス株式会社と仮契約を行ったので、議会の議決を求めるものです。

◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

星野建一郎氏及び齋藤甲一氏の任期満了に伴い、両氏を再任として推薦したく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。

【報告】

◇一般会計予算継続費精算報告書について

「路線価付設・画地計算業務」及び「史跡本佐倉城跡整備基本設計業務」が終了したので報告するものです。

◇財政健全化判断比率及び資金不足比率について

一般会計を対象とした「実質赤字比率」と公営企業会計を含む全会計を対象とした「連結実質赤字比率」については、いずれも赤字額は無く該当しません。

また、借入金の負担の程度を示す「実質公債費比率」は4.8%に低下し、将来負担しなければならぬ「将来負担比率」は非該当となり、いずれも早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあります。

さらに、「資金不足比率」についても、赤字比率同様に資金不足がないため該当しません。

議員発議によるもの

◇尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書の提出について

◇李明博韓国大統領の竹島上陸に抗議し、天皇侮辱発言の「撤回と謝罪」を求める意見書の提出について

◇消費税増税中止を求める意見書の提出について

◇原発から撤退し、再生可能エネルギーの開発、普及を求める意見書の提出について

議案・賛成討論(要旨)

齊藤博議員

(議案第5号・第7号)

議案第7号は、昨年、中川の浚渫に関する請願が採択されたことに対応してのものだと考え、農閑期に合わせたこの時期に実施されることについて、町長・担当課の英断に敬意を表する。

議案第5号は、太陽光発電の整備に向けての予算が計上され、実現に向けての一步が築かれたと評価する。ただ、成田赤十字病院への補助金について指摘する。補助すること自体に反対ではないが、3月補正でも十分間に合う内容であり、今後4年間の全体額を決定し、これを成田赤十字病院、各市町村と十分協議をした上で補正予算を組むべきである。

(発議案第3号)

この文面の中で消費税に代わる財源として、富裕層や大企業などの負担能力のあるところに負担を求めるとあるが、私はそれにくみしない。一体改革をやらなければならない。法律は通ったけれども結果的に実質何もなく、また先送りである。今まで

どおりの形の中で消費税が決まったというのに対して、私は消費税の増税反対の立場から賛成する。

地福美枝子議員(発議案第4号)

命と健康にかかわるこの原発をやめて欲しいというのが、国民の大きな世論になっている。安全委員会がお墨付きを与えた現在の原発が、安全である保障は全くない。国会の同意を得ること自体を無視して発足する規制委員会も同じである。大多数の国民の反対を押し切って再稼働を強行した大飯原発3、4号機を直ちに停止させることはもちろん、全ての原発の再稼働、策動をやめ、原発ゼロへと踏み出すことが、今本当に求められている。この国民の声に真摯に向き合い、原発ゼロを目指すべきだと思う。

議案・反対討論(要旨)

地福美枝子議員

(発議案第1号・第2号)

領土問題は、歴史的事実と国際法上の道理にのっとって冷静な外交交渉で解決を図ることが大事である。国がやるべきは、双方の政府に冷静な対応を求め

ることで、外交的話し合いでの解決を求めることである。今、非常に激化しており、ますます緊張をエスカレートするような状況になっている。そのような状況にあるわけだが、国会での我が党の対応と同様、この意見書には賛成できない。

町長・副町長より5件の行政報告がありました。(要旨)

酒々井町地域防災計画の改定状況について

今年度は、庁内に防災担当者会議や防災計画検討委員会を設置し、防災体制の見直し等を行い、また、町民と行政の協働の立場から防災関係の各団体の代表者からなる防災懇談会を設置し、当町の防災対策に関すること及び本計画の修正に関することを検討しているところです。

また、千葉県地域防災計画が、東日本大震災を受けて大幅な修正が加えられたところであり、この新計画を基に当町の実情に沿った修正を行ってまいります。

今後、地域防災計画素案の作成、パブリックコメントの実施、防災会議の開催、職員の防災対応を基本としたマニュアルの作成、地域防災計画概要版の作成等を行ってまいります。

庁舎耐震補強設計等の進捗状況について

庁舎の耐震補強設計及び大規模改造実施設計業務委託について、平成24年7月2日付けで契約を締結し、設計業務に着手したところです。

平成24年度 補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	9月補正額	補正後
一 一般会計	5,823,301	109,731	5,933,032
特別会計			
国民健康保険	2,431,958	8,025	2,439,983
下水道事業	578,834	83,650	662,484
介護保険	954,367	24,606	978,973
後期高齢者医療	153,359	786	154,145

現在、「耐震補強」「エレベーターの設置」「アスベストの除去」について、それぞれ設計中であり、今後進捗に応じ全体のスケジュール等が示されることとなります。

なお、当該工事にあたっては施設を使用しながらの施工となることや、耐震診断の結果からも耐震性能に問題があるとの診断を受けているプレハブの東庁舎が支障となることから、工程等を踏まえ来庁者への対応や業務に支障をきたさぬよう代替施設の検討を行ってまいります。

酒々井ちびっこ天国 夏季节事事業の運営について

開園日は41日間で、入園者数は、スライダープールの閉鎖の影響が懸念されましたが、好天が続いたことなどから昨年を上回る6万3,892人でした。

なお、開園期間中は大きな事故等もなく良好な運営が実施されました。

環境・防災に配慮した学校施設の整備推進について

地球規模の環境問題が社会的に大きく取り上げられている現在、学校施設においても環境への負荷の低減に対応した施設の

整備（エコスクール化）が求められています。

学校施設は、大規模地震や豪雨等の非常災害時に地域住民の避難場所であるとともに、避難所での必要最低限の情報収集・発信などの機能を確保する必要が求められています。

これまでに、施設の耐震化100パーセントを達成し、エアコンの設置を進めるなど教育環境の整備に努めてきました。

今後の当町における学校施設のあり方として、環境への配慮及び防災対策の観点から、所用の校地の確保や蓄電池を組み込んだ太陽光発電設備を整備することにより、平常時には、太陽光発電による消費電力の削減、休日等に電力が余った場合の余剰電力の売電、更に、学校での災害時非常用電源としての活用などの利点があることから、小中学校への太陽光発電設備の設置を計画したところです。



住民訴訟について

住民訴訟については、平成23年10月25日に東京高等裁判所において控訴審判決が言い渡されましたが、同判決に不服として、東京高等裁判所に原告から「上告受理の申し立て」が出され、東京高等裁判所から最高裁判所へ事件記録等書類が送付されており、上告要件に該当するか審理されていました。

この度、平成24年9月18日付で、最高裁判所第三小法廷より、裁判官5名の全員一致の意見で「1 本件を上告審として受理しない。」「2 申立費用は申立人らの負担とする。」「旨の決定調書が送付されました。」

なお、その理由としては、「本件申立の理由によれば、本件は、民訴法318条第1項により受理すべきものとは認められない。」というものでした。

この決定により、東京高等裁判所の判決どおり、町の主張が認められ、今回の住民訴訟については完結したことになります。

千葉県町村議会議長・副議長自治研修会

11月9日(金)、千葉県町村議会議長・副議長自治研修会が開催され、越川議長と平澤副議長が出席しました。

「2012年大動乱、野田政権の明日を読む」と題し毎日新聞社論説委員長倉重篤郎氏、「知事講演」と題し千葉県知事森田健作氏、「地方行政政をめぐる動向について」と題し全国町村議会議長会事務総長江澤康二氏らの講演がありました。



毎日新聞社論説委員長 倉重篤郎氏



千葉県知事 森田健作氏



議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	酒々井町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
2	酒々井町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
3	平成23年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定 ○
4	平成23年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定 ◎
5	平成24年度酒々井町一般会計補正予算（第3号）	※	原案可決 ◎
6	平成24年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決 ◎
7	平成24年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	経済建設	原案可決 ◎
8	平成24年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決 ◎
9	平成24年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決 ◎
10	財産の取得について	総務	原案可決 ◎
11	富里市道路線の認定の承諾について	経済建設	原案可決 ◎
12	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ◎
13	工事請負契約の変更について	なし	原案可決 ◎
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	なし	原案適任 ◎
諮問2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	なし	原案適任 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の議決結果
1	尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書の提出について	金塚 学 議員 他3名	原案可決 ○
2	李明博韓国大統領の竹島上陸に抗議し、天皇侮辱発言の「撤回と謝罪」を求める意見書の提出について	金塚 学 議員 他3名	原案可決 ○
3	消費税増税中止を求める意見書の提出について	地福 美枝子 議員 他2名	原案否決 ×
4	原発から撤退し、再生可能エネルギーの開発、普及を求める意見書の提出について	竹尾 忠雄 議員 他2名	原案否決 ×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。



平成25年4月中旬の開業に向けて工事が進む酒々井プレミアムアウトレット

酒々井プレミアムアウトレット工事現場を視察



説明を受ける当町議員

町議会では、9月定例会の最終日、9月21日（金）本会議終了後に、酒々井プレミアムアウトレット工事現場を視察しました。酒々井プレミアムアウトレット開業準備室長から、進捗状況等、詳細な説明がありました。

決算に関する2議案は、決算審査特別委員会に付託し、それぞれ認定されました

区分	平成23年度		平成22年度		
	歳入	歳出	歳入	歳出	
一般会計	6,128,763	5,747,871	6,646,034	6,378,954	
国民健康保険特別会計	2,328,895	2,264,365	2,260,851	2,123,430	
下水道事業特別会計	479,985	478,076	325,420	304,958	
介護保険特別会計	958,052	932,060	951,556	894,181	
後期高齢者医療特別会計	140,142	139,356	131,513	130,685	
水道事業会計	収益的収入及び支出	485,313	380,286	487,038	369,169
	資本的収入及び支出	10,155	300,484	11,827	202,447

◆平成23年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定
 ◆平成23年度酒々井町水道事業会計決算の認定
 9月定例会に上程された決算関係の2議案は、6名の委員で

構成する決算審査特別委員会に付託し、それぞれ認定されました。

委員の構成

○委員長 原 義明
 ○副委員長 齊 藤 博
 委員 金 塚 学
 委員 御園生 浩 士
 委員 川 島 邦 彦
 委員 地 福 美 枝 子

決算審査特別委員会

原 義明 委員長 報告

3日間にわたり委員会を開催し、執行部からの詳細な説明をもとに厳正な審査を行ったところ、平成23年度一般会計及び各特別会計決算、平成23年度水道事業会計決算ともに、それぞれ認定すべきものと決定しました。

なお、審査の過程において、今後の予算執行にあたり、次のような意見や要望事項がありました。

全般事項

○個人町民税が景気低迷により大幅に減少したものの、法人町民税や固定資産税が増加したことにより全体的には増額になっているが、今後高齢化により、個人町民税は益々減少するものと考えられる。そこで、当町には、国道2路線、JR・京成電鉄併せて4駅、また来春にはインターチェンジ等の開設があることから、これらを活かした法人町民税等の自主財源を高めるため、企業誘致を図る施策を検討されたい。

○町税や国民健康保険税等、全

ての収納については一定の成果が認められるものの、依然として収納未済額と不納欠損額が多額となっている。徴収体制の充実を図り、より一層現年度分の収入未済額の解消に努めるとともに、滞納繰越分についても分納誓約の指導をするなど、不納欠損額の更なる縮減を図られたい。

○ごみの排出量については、可燃物の収集量が平成22年度と比較すると増えているとのことであるが、平成25年春にはインターチェンジの開設により、周辺及び町内に多くの企業進出が予測されるため、今後は今までのようにごみの排出量が増加するものと思われる。そこで、ごみの発生を抑制する分別収集の徹底やリサイクル等ごみの減量化に向けて積極的な取組みに努められたい。また、今後進出する企業から排出する空き缶の回収・処理については、町内の障害福祉サービス事業所でも行っており、当該団体の回収等は町内から排出するごみのリサイクル及び減量化に繋がることから回収等の協力の呼びかけをお願いしたい。

一般会計

○現在、概ね65歳以上の一人暮らし高齢者が緊急時に連絡する方がいない方に緊急通報装置を貸与しているが、総務課で行っている防災ラジオについて、当該貸与者にも、無償貸与を検討されたい。



防災ラジオ

○出生祝品（ブックスタート）の配布事業を行っているが、4か月または10か月健診に来た方のみ配布している状況にある。本を支給することにより、「親子間の触れ合い」「絆を深める」など、大変効果のある事業なので、配布方法については再検討され、対象者全員に支給されるよう努力していただきたい。

○3歳以上の保育園給食については、各家庭の負担軽減や温かいご飯を提供できるなどの利点

があることから、費用等の課題はあるが、完全給食の実施に向けて検討していただきたい。

○社会福祉協議会並びに地域包括支援センターが入居している建物等の賃借料は、町が千葉信用金庫に対して年間約350万円と多額の金額を支払っていることから、将来的な費用対効果等を勘案するとともに、第5次総合計画前期基本計画で示されている、地域福祉活動拠点の整備について早急に検討されたい。

○町立図書館の書籍については、限られた予算の中で購入されている状況であるが、町民への学習機会の提供や多様な要望等に応えるためにも、購入費の増額も含め、計画的な書籍購入に努めていただきたい。

○学校の授業において、児童生徒が等しく活用する消耗品等に係る費用負担については、保護者負担の軽減をされるよう努められたい。

○町ホームページについては、職員による作成や維持管理を行っているが、民間業者に委託した場合の費用対効果の検証を行うことも検討されたい。また、アウトレットの開業が予定され

ていることから、観光情報を始め、町の情報発信の強化を図るよう努められたい。

○地域ブランド商品を「酒々井ブランド」として販売し、町外へのPRに取り組んで行くことは重要である。また、同様に町民の方々に対して商品内容を理解していただくことも重要であることから、町内への周知活動にも強化を図られたい。

○年度内に執行できず、翌年度へ繰越しする事業が多発している。また、予算執行段階において、当初の説明と異なる執行がされているケースが見られるので、計画的な予算執行に努められたい。

○補助事業については、補助終了後、費用対効果や町民の要望を含め、継続・縮小・中止など、十分な検討をしていただきたい。

○町有財産について、有益な検討・活用をされたい。

その他

○複数の部署に係わる事業について、役場内の協議、理解が十分でないと思えられるケースがあるので、町全体の統一性を確保するよう努められたい。

決算・賛成討論(要旨)

佐藤修二議員

限られた予算の中で、町独自の事業あるいは新規事業に取り組んで予算を執行しており、その中でも各種検診等の健康推進事業や、子育て支援等に関する医療費の支給、町民の多くが参加している生涯学習推進事業や公民館主催事業等も、効率的に執行されている。さらに町民の生命財産を守る安全・安心の面について新規事業である災害救助事業、また安全・安心のパトリール事業等、着実に予算が執行されており、大枠において所期の目標を達しているのではないかと思う。

決算・反対討論(要旨)

竹尾忠雄議員

住宅リフォーム助成事業、小中学校野外トイレの改築、エアコン設置のための設計については評価する。

職員の新規採用ゼロでは、町の将来を考えているとは思えない。地方自治本来の責務である住民の暮らしや福祉を充実させる努力を尽くしたのか指摘する。



決算審査特別委員会

国民健康保険税の引き下げが求められており、制度外繰り入れ等を行うべきではないか。保育料についても、細分化し引き下げるべきである。また、紙おむつを必要なお年寄りに支給すべきである。

上岩橋の道路拡幅工事は、予算執行段階において当初と異なる執行がされており、町民の立場に立って行政を進めているのか疑問である。



小学生が議場を見学

10月17日(水)に、酒々井小学校2年生の4名が、生活科学習の一貫として議場を見学しました。少し緊張した様子でしたが、議会についての説明を熱心に聞いていました。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、10日と11日の2日間に12名の議員が教育問題や南部地区開発関連など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。

問

役場庁舎等に太陽光発電装置を設置すべきでは

答

地域防災計画の見直しの中で位置づけていきたい

御園生 浩士 議員

問 町では、ファシリテーターマネージメントを推進しているが、災害など非常時の行政の事業継続のために、役場庁舎等に太陽光発電装置を導入すべきと考える。各学校にエアコンが設置されたが、電気料金の軽減や環境負荷低減のためにも、太陽光発電装置の導入をすべきと思うが、町の考えを伺う。

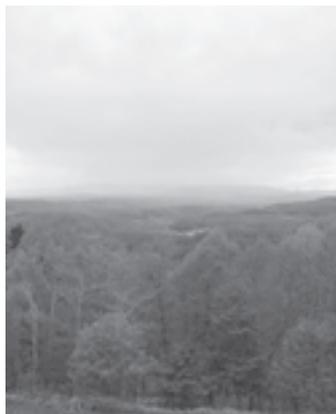
町長 役場庁舎等の公共施設は、防災拠点や避難所となるので、災害対応を行う上で非常用電源は大変重要である。地域防災計画の見直しを行う中で「防災施設等の整備」として、位置づけていきたい。また、各学校には、防災対策等の観点から太陽光発電設備の設置に取り組んでいく。

陸別町との交流等について

問 北海道陸別町への行政視察が行われたが、大自然の中でスクールの開催や互いの子どもたちの交流ができないか伺う。また、災害時の援助協定が結べないか伺う。

町長 酒々井町には無い素晴らしい自然環境の中で、子どもたちが体験学習を通して交流を深めることは、大変有

意義なことを考える。また、首都直下の大規模な地震が想定されていることから、遠隔地との災害協定を進めることは有効であると考えている。



陸別町の素晴らしい自然環境

教育問題について

問 大津市の中学2年生が「いじめ」による飛び降り自殺をした事件が大きく報道されているが、このことについて、教育委員会や学校では、どのように考え、対応していくのか伺う。

教育長 いじめは、重大な人権侵害であり、けつして許されるものではない。まして、いじめを苦に子どもが自ら命を絶つということは、あってはならないことと重く受け止め、いじめ問題を最重要課題の一つとして取り組んでいるところである。

問 酒々井小と中央台地区を結ぶ避難道路の計画を

答 道路整備の必要性は認識している

金塚 学議員

問 ① 災害時避難場所に指定されている酒々井小学校と中央台地区を結ぶ避難道路の整備が必要と思うが如何か。
② 災害時要援護者の名簿作りについて進捗状況はどうか伺う。
③ 介護支援ボランティア制度の進捗状況はどうか伺う。

町長 ① 中央台地区から酒々井小学校を結ぶ主な系統は、2系統あるが、防災活動における連携強化のために、道路整備の必要性は認識している。なお、整備する際は、補助金のかさ上げ等、有利な国庫補助金を活用できるように注視していきたい。

② 6月下旬に全戸回覧により「災害時要援護者名簿登録制度」への登録募集を開始し、現在、自治会によるとりまとめが行われている。また、民生委員児童委員の戸別訪問による登録への働きかけも行われている。

担当参事 ③ 「介護支援ボランティア制度検討委員会」を設置し、8月3日に第1回目の検討会を開催した。第2回目の検討会を9月24日に開催予定であり、平成25年度からの実施を目標

にしている。

教育環境の整備

問 今年度より小学校でも外国語指導助手（ALT）による英語教育が始まっているが、来年度以降に授業数の増加計画はあるのか伺う。

教育長 来年度以降の時数の確保等を含めた外国語教育の充実に向けて、現在、小中学校外国語活動担当者会議で検討している。

観光振興について

問 来年度以降の「酒々井ちびっこ天国」の運営について伺う。

町長 設備投資や管理運営面の検証と指定管理者の経営診断等、今後の運営について引き続き検討していく。

町の活性化推進について

問 「本佐倉城跡」の認知度向上のためにもどのような取り組みを計画されているのか伺う。

教育長 JR酒々井駅と京成酒々井駅にアクセスガイドマップを入れる案内板の設置を予定している。また、本佐倉城跡入口にトイレや40台収容の駐車場などの整備事業を計画している。

問 大型貨物車の通行禁止が野放しの状態

答 取り締まりを要請していく

那須 光男議員

問 上本佐倉交差点から上岩橋地先（バーミヤン前）までの旧51号線と築山交差点から宗吾参道へ向かう県道宗吾・酒々井線、国道296号下台T字路から酒々井町役場入口までの町道、ドラッグ店エービンの交差点を左折し順大へ行く町道は、大型貨物車の通行が禁止されているが、現状は野放しの状態である。そのため、

- ・学童の通学や自転車の通行が危険
- ・大型車が通行するたびの振動被害
- ・道幅が狭いため、直径10センチの鉄製の安全ポールが次々と破損
- ・大型車の通行による道路の破損
- ・印旛沼中央水路に架かっている中平橋の両サイドは、大型車の重量で地盤沈下して危険な状態など、大きな問題が発生していることを拡大した写真を示し、町執行部に実情を訴えるところにも、進入する大型貨物車の運転手に対して、町は野放し状態を放置している

と受け止められないよう、佐倉警察署に対し、取り締まり強化を今まで以上に働きかけるよう町長の決意を伺う。県道だから県の問題とせず、「大型貨物車進入禁止」の大きな横断幕を交差点に貼る、貼れない場所には、より大きな看板を立てるよう併せて町長に要求する。

担当参事 上本佐倉交差点から上岩橋地先までの間は、児童・生徒の通学路であり、道路幅が狭く、歩道の未整備箇所があり、歩行者や自転車にとって大変危険な状況にあり、町PTA連絡協議会からも大型自動車の通行規制の要望が町にされたので、平成14年に警察要望・協議を行い、大型貨物自動車等の通行止め規制が行われた。また、国道296号下台T字路から酒々井町役場入口までの間等の道路は、大型貨物自動車等通行止めの規制が行われているが、違反と思われる車両が見受けられるので、佐倉警察署に取り締まりの要請を行っているが、なかなか効果に表れていないのが実情である。また、横断幕等については、関係機関と協議をしていきたい。

町長 引き続き、佐倉警察署に大型貨物自動車等の通行違反車両の交通取り締まりの実施を要請していく。

問 酒々井インターチェンジ工事の進捗は

答 平成24年度末完成に向けて工事が進められている

内海 和雄 議員

問 ① 酒々井インターチェンジの工事は計画どおり進められているのか。

② アクセス道路の接続部分（国道296号・県道富里酒々井線）の工事日程について伺う。

③ チェルシージャパン㈱が地元説明会を行ったと聞いたが、我々町民に対しても早急に説明してもらえぬ場を設けてほしいと考えるが如何か。

副町長 ① 計画どおり平成24年度末の完成に向けて、関係機関で工程調整を図りながら、鋭意、工事を進めている旨を県から聞いている。

まちづくり課長 ② 地権者のご理解とご協力をいただきながら、用地が取得できた箇所から、順次、工事に着手し、来年春のアウトレットの開業にあわせて交差点改良を実施したいと県から聞いている。

副町長 ③ 大規模小売店舗立地法に基づき、地元説明会が開催された。アウトレットについて、町民の方に広く内容を知っていただけるようチェルシージャパン㈱にPRのはたらきかけを行うとともに、町においても機会を

とらえて周知を図っていききたい。

中学校の整備等について

問 ① 今年度から中学校での武道が必修化となり、当町では柔道を選択しているが、生徒数から見て柔道場の規模に問題はないのか伺う。

② 中学校のグラウンドは、クラブ活動をを行う上では狭すぎる。グラウンドの拡張を検討すべきと思うが、町長の考えを伺う。

教育長 ① 柔道における授業では、1クラス40名以下の生徒を対象とすることから、規模の面では特に問題がないと認識している。

町長 ② 中学校からもサッカーと野球が重ならず十分な活動ができるようにしてほしいとの要望があり、生徒が安全に活動できるように整備が必要と考えている。第5次総合計画前期基本計画の中でも「安全性の確保と部活動の競技力の向上が期待できることから、拡張について検討します」と明記している。今後は、実施計画を策定する中で、震災時の避難場所でもあることから、検討していきたい。

問 町内交通安全対策の進捗状況は

答 八坂神社先に押しボタン式信号機の設置要望を行った

原 義明 議員

問 6月議会におき要望した次の2カ所について、現在までの進捗状況について詳細・具体的見解を伺う。

① 国道296号東酒々井入口交差点右折レーン設置の近隣用地買収と実現される時期につき町から県への対応を伺う。

② 県道宗吾酒々井線八坂神社地先押しボタン信号機設置進捗状況と署名効用の警察への対応について伺う。

まちづくり課長 ① 少なくとも月に一度は進捗状況を確認している。合わせて、町は用地買収等を実施していく。担当参事 ② 5月に設置要望を行った。また、地域の方からも要望書が町に提出されたので、その写しを添えて、さらに佐倉警察署に設置要望を行った。

保健センターと社会福祉協議会との業務連携について

問 高齢社会を迎え、自ら進んで健康維持し、健康管理知識豊かな皆さま多く、社会福祉協議会と保健センターは健康に関し共有できる事業展開可能で効果的と考え、次の3点について伺う。
① 高齢者または健康常者の皆様も気楽

に利用できる運動器具を住民全体健康維持のため、保健センター一部に設置する見解を伺う。

② 行政の窓口は一極集中的な場所に全て所在することを望ましいと考え、将来的に保健センターの隣に社会福祉協議会を移設することにより、業務連携方向性に推進しやすく見解を伺う。

③ 家賃を払ってまで、現在の場所に社会福祉協議会が設置されているメ리트につき見解を伺う。

担当参事 ① 運動器具の設置は、設置場所の確保等の課題があることから、現在行っている介護予防教室等について、町民ニーズに合わせて、充実拡大に努めていきたい。

町長 ② 社会福祉協議会は、地域福祉の活動の中心的役割を担うものであり、健康福祉課と社会福祉協議会が隣接することは利用者の利便性から望ましいと考える。

担当参事 ③ 社会福祉協議会は、中心市街地に位置し、高齢者や障害者等にとっても使いやすい場所にあると考えている。

問 いじめ対策の取り組みは

答 各校で研修会を実施し、認識を新たなものにする

江澤 眞一 議員

問 ① 大津市の中学校で起きたいじめ問題から、全国の複数の中学校で同じようなことが出てきている。酒々井町教育委員会として、これらの問題をどのように考えているのか伺う。

② 酒々井中学校での現状をどう把握しているのか伺う。

③ 今後の取り組みについて町の考えを伺う。

教育長 ① いじめは、どの学校でも起こり得るものとの認識に立ち、いじめを発見した際には、学校全体で情報を共有し、いじめられている生徒の立場に立って、早期解決に向け組織的な対応ができるよう努めている。

② 中学校では、いじめアンケートの実施、毎学期に各担任が全生徒に対して教育相談を行い、生徒の実態把握や問題解決に向けて取り組んでいる。

③ 二学期の早い時期に、各校でいじめに関する研修会を実施し、いじめに対する認識を新たにするとともに、解決に向けた対応方策について共通理解することとしている。

酒々井びびっ天国のしくみ

問 ① 夏季プール事業の入園者数について伺う。

② ちびっこ天国基金の今年度の額について伺う。また、今後の運営について伺う。

町長 ① 入園者は6万3,892人で昨年度を1万718人上回った。

② 平成23年度末の基金残高は3億4千25万2,927円である。これだけの大きな施設のプールは、今後、建設することは難しく、こうした親子ともども1日中遊べるプールの存在意義についても考慮すべきものと考えている。しかしながら、経営的な観点や安全性の配慮等から、今後の運営については、十分検討していきたい。

プレミアムアウトレットのしくみ

問 ① 現在の進捗状況について伺う。

② 雇用に対する町の取り組みについて考えを伺う。

町長 ① 現在のところ、スケジュール通りに進んでいる。

② 町と商工会が協力し、地元雇用の可能性についてチェルシージャパン(株)と協議していく。

問 酒々井ブランド商品化前に消費者ニーズの確認を

答 商工会等と協議して進めていきたい

齊藤 博 議員

問 酒々井ブランドについては、商品化に向けた作業に進むということだが、率直に言って、商品自体の評価、特に町民や消費者目線での評価検証が不十分である。一回のアイデア募集、一年での商品決定と進んでいるが、こんなに簡単に「地域ブランド商品」が生み出せるとは思えない。そこで、商品化の前に、町内を中心に消費者ニーズを再確認しては如何か。第二の「しすいの水」にならないことを祈る。

住民協働課長 町商工会を委託先として酒々井ブランド創出事業を進めているが、考案商品の具体的な製造や販売手段等の整備に向け町商工会をはじめとする関係者と協議し進めていきたい。

町長 「しすいの水」は、町民の安全・安心の防災のため、もう一点は商業ベースではなく、水が清らかな酒々井町を知ってもらうために一部の地域で販売しているものである。また、今回の震災では、「しすいの水」を被災地に送り感謝された。

南部開発事業について

問 アウトレットからの税収の想定は、町の将来を左右する最大重要事項である。町長は、平成22年10月に新千葉タイムズで、「アウトレットからの税収は6億円」と具体的な数字で発言した。当時、町議会においては、「まだ、分からない」と答弁していた。また、平成18年7月に町が公表した時は「7億円」であった。バラバラな発言であるが、「6億円」と想定した根拠を伺う。

町長 チェルシージャパン(株)が進出する部分は全体の3分の1の地域で、税収については、平成25年度、26年度に検証することになる。それ以外の地域については、準工業地域であり、工場が入ってくる。これは当然、業種によって、大きな違いが出てくるので、今のところ、税収を想定することはできない。町としては、先端技術的な企業を誘致していきたいと考えている。そういうことから、最終的には6億円を見込んでいく。

問 早く子どもたちに暖かいご飯の提供を

答 検討していく

川島 邦彦 議員

問 保育園の給食体制について、前回の議会の回答を踏まえ再度伺う。

① 完全給食の保育園と主食（ご飯）持参の保育園の実態を伺う。

② 完全給食の保育園はどのような動機付けで完全給食に移行したと考えられるか酒々井町の現状に照らし伺う。

③ 給食は園内で調理するとの条件は、平成22年の省令改正で3歳以上には学校給食センターなど園外から搬入提供が可能になったのではないか。

④ 給食支援は子育て世帯の定住化と町民税等の収収が期待できるという認識はあるか伺う。また、成田市と佐倉市はすでに完全給食であり、近隣自治体とのサービス格差を解消すること、あるいは費用対効果においても早期に実施すべきと考えるが如何か。

⑤ 保護者から要望がないことを実施しない理由としているが、暖かいご飯が食べられない現状を放置していることに驚きがある。そこで保護者の意向を把握するため提供側が、例えばアンケート調査などのアクションを起こす考えはあるか伺う。

問 早期の中川治水対策の実施を

答 補助金の動向見ながら、対応していく

小早稲 賢一 議員

問 安全・安心のまちづくりが叫ばれている今日、中川の治水対策である調節池の整備について、町では、平成18年から22年の5カ年をかけて、まちづくり交付金制度を活用し、本事業に取り組んできたが、その成果と進展を見ることができない。安全・安心のまちづくりは、待ったなしであるとともに、ここで止められる事業ではない。被災者のいる限り永久に続く事業である。この事業に対して、今後、町はどのように対応されていく考えなのか伺う。

町長 中川の治水対策は、平成18年度から中流区間の護岸かさ上げ、内水排除ポンプの設置を行った。しかし、最も費用対効果が高い調節池については、議会により予算の削減などが行われたため、実現に至っていない。また、まちづくり交付金制度もなくなった。今後の集中豪雨の増加傾向を踏まえ、一日も早く中川流域の治水安全度を向上させ、水害リスクの軽減を図らなければならぬと考えている。また、整備にあたっては財源となる補助金の動向を見ながら、対応していきたい。

問 屋外ステージ設置にあたっては、商工会、NPO法人Bネット、その他多数の団体が設置を希望しており、地域的な立地条件からも利用価値が高いものと考えている。中央台公園はドクターヘリの臨時着陸の場であり、これらの妨げにならないよう十分な考慮と配慮の上、多目的用途の屋外ステージは必要なものと考えている。町民ニーズに応える見地からも、また、町民サービス向上の観点からも、屋根、照明など附帯設備の要望を含めて、屋外ステージを設置すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 中央台公園の再整備は、国の交付金を活用して実施しており、その中で非常時や訓練時における指揮台を整備することとしている。この指揮台が通常時においては、屋外ステージとしての機能を有するものと考えている。なお、ステージとなる屋根の設置については、今後検討していきたい。



保育園での給食時の様子

町長 ① 印旛郡市の状況として、完全給食を実施している市町は4市1町、主食を持参している市町は、酒々井町を含めて3市1町である。

② 完全給食に移行した市町では、保護者からの要望や園舎の改築を機会に、完全給食に移行したと聞いているが、酒々井町では、現在のところ、保護者からの要望や園舎改築の予定もない。

③ 平成22年6月1日付けの厚生労働省雇用均等・児童家庭局長発の通知により一定の条件を満たす場合、特例として外部搬入ができるようになった。

町長 ④ 保育園とアンケートの取り方を含めて検討していきたい。

問 安全・安心パトロール事業の再度実施を

答 安全・安心につながる事業実施を検討していく

佐藤 修二 議員

問 ① 平成23年度まで実施された「ふるさと雇用再生特別基金事業補助金」を使った安全・安心のパトロール事業は、民間の警備会社に委託して実施され、切れ目のないきめ細かなパト

ロール展開は、自転車の盗難や駅周辺でのたむろ等を含め、目に見える形で改善された経緯があるが、事業終了後、再び以前の状況に戻るような兆候が見え始めている。千葉県警で集計する犯罪の認知件数においても、酒々井町は今年度になって犯罪の増加傾向が現れており、県下54市町村の中でワースト10の上位にランクされる月が多くなっている。安全・安心パトロール事業を再度実施すべきと思うが、町の考えを伺う。

② 指定通学路で登下校中の小中学生の痛ましい交通事故が報道されている。当町では大きな事故はないが、他人事ではなく、常に危険との隣り合わせの状態が多々見られる。国でも対策を検討しているが、その中で指定通学路の走行速度を制限することを検討している」と聞くが、町としても子どもの

安全を守るため、警察に指定通学路の走行速度を30キロに制限するよう申し入れすべきだと考えるが、町の見解を伺う。

担当参事 ① 平成22年度から2年間、防犯パトロールを実施した結果、当町の犯罪件数は、大幅に減少したが、本年7月末現在の暫定値では、前年と比較すると増えている状況にある。今後も地域の皆様にご協力いただきながら、防犯活動を実施し、犯罪を起こしにくい、起きにくい環境づくりに努めるとともに、防犯パトロールの実施など、安全・安心につながる事業実施の検討を行っていく。

町長 当町では、小中学校と町教育委員会が作成した「酒々井町小中学校通学路危険箇所」マップをもとに、学校関係者、総務課、佐倉警察署等で、合同点検を行い、改善可能な対策を協議した。通学路の速度規制については、(仮称)酒々井町総合交通政策会議を立ち上げ、通学路等における速度規制、道路へのハンパ整備や道幅を狭くするなど、総合的に検討を行っていききたい。

問 消費税増税等、懸案事項をどう考える

答 食料品に対しては軽減税率を期待する

地福 美枝子 議員

問 消費税、オスプレイ、領土問題等、日本政治の懸案事項について町長の考えを伺う。

町長 消費税増税の影響を考えると、生活必需品、特に食料品への軽減税率の検討等を期待する。オスプレイの配備は、住民の生活を第一に考え、政府に総合的かつ慎重な対応を望む。領土問題は、政府の外交努力に期待する。

町の平和行政について

① 毎年の平和予算額及びどのようにたてられているのか伺う。
② 担当課は何課で、何人で計画しているのか。関係団体との会議等はどうに行っているのか。
③ 原爆パネルを行政で購入し、活用してはどうか。
④ 町長は、核兵器廃絶を主張する平和市長会議や非核の首長会議にも加入している。この運動がどのように町に反映されているのか。

⑤ 非核平和都市宣言をしている市町村は多い。しかし、酒々井町は、平和都市宣言のみで、非核を付けていない。核の問題が議論されているなかで、今

こそ非核を付け、意思を明確にすべきではないか。

経営企画課長 ① 平和を考える映画会用DVD代3万円を計上している。
② 経営企画課が担当し、班員3名で協力し実施している。事業の実施にあたっては、関係団体と打ち合わせを行いながら調整を行っている。
③ 以前は、広島平和記念資料館等からパネルを借りていたが、現在は協働の観点から、関係団体と相互に連携しながら、平和事業を実施している。

町長 ④ 平和理念の啓発に努めていきたい。
⑤ 宣言文本文で核兵器に触れており、非核については、考慮されている。

国保の減免について

問 ① 町独自の減免基準をつくり、引き下げをすべきではないか。
② 広域化について、どのように考えているのか。

町長 ① 国保財政の状況を見ながら、検討していきたい。
② 広域化により、酒々井町の国保税は安くなると思うので、望んでいる。

問 公共施設に太陽光発電の設置を

答 学校に設置していくための予算を計上した

竹尾 忠雄 議員

問 ① 太陽光発電設置補助事業は、申請者が多く、一ヶ月で満了となった。多くの町民が原発に頼らず、自然エネルギー活用を検討している。補助事業の予算を拡充する必要があると思うが、町の考えを伺う。また、平成25年度予算でも予算の増額が必要だと思うが併せて考えを伺う。

② 3月議会では私は、学校などの公共施設に太陽光発電の設置を提案した。町が「国の補助金があれば前向きに検討する」との答弁であったが、その後調査・検討結果、実施時期について伺う。

担当参事 ① 平成24年度では、当初15基の設置補助を予定したが、4月中旬に満了となったので、今議会でも10基の補正予算を計上した。なお、この事業は、県の事業でもあるので、県の財政環境を考慮した中で、予算対応していきたい。

町長 ② 学校施設のあり方として、環境への配慮及び防災対策の観点から、まず始めに太陽光発電設備の設置に取り組んでいくために、今議会に調

査・設計委託料を計上した。実施時期については、調査・設計の完了後、学校環境改善交付金の活用や町の財政状況を検討し、実施していきたい。

通学路の安全対策について

問 上郷地区の通学路については、以前から危険な場所とされている。2年前の中学生模擬議会でも改善の要望があったが、改善の見通しについて伺う。

町長 道路改良を行うには、地権者のご理解・ご協力が必要である。現状の用地内で、通行者の待避スペースの確保や、通行車両に対して注意喚起等安全対策を講じていきたい。

岩橋保育園に新設する園庭について

問 3月に岩橋保育園の園庭が狭くなり、一部遊具が撤去された。当初10月の運動会までに園庭を完成させるとの議会答弁であったが、完成時期はいつになるのか伺う。

こども課長 園庭面積は、現状でも国の施設運営基準を満たしているが、隣接地権者及び関係機関と協議が終わり次第、工事をはじめ平成25年3月までに完成させたい。

その他の質問

御園生浩士 議員

・防災計画について

那須 光男 議員

・防災ラジオについて

・電気料金について

・地域担当員制度について

齊藤 博 議員

・課題の検討について

小早稲賢一 議員

・住宅リフォームの補助について

・効果的なまちづくりについて

佐藤 修二 議員

・南部地区開発関連について

福島県西郷村議会・佐野コミュニケーションセンターを視察



鈴木西郷村議会議長（中央）

町議会では、10月2日(火)、福島県白河郡西郷村を、10月3日(水)、栃木県佐野市にある佐野コミュニケーションセンター（佐野プレミアムアウトレット内）を視察しました。

西郷村では、議会活性化への取り組みや議会活動の情報発信について、今後の酒々井町議会の運営に活かすために先進事例を学びました。また、酒々井プレミアムアウトレット内にコミュニケーションセンターを設置することから、佐野コミュニケーションセンターの管理運営方法等の状況について視察しました。



コミュニケーションセンターの外観
（佐野プレミアムアウトレット内）



説明を受ける当町議員

中学生模擬議会を開催
しました

10月30日(火)、酒々井中学校3年生の代表者16名の中学生議員による、第7回中学生模擬議会が開催されました。

普段町に対して思っていることや考えていることを中学生の視点から一般質問を行い、「酒々井ブランドについて」、「通学路の環境整備について」など中学生議員の皆さんが日頃から、見



て疑問に感じている、まさに実体験に基づく質問で、私たち大人がおおいに耳を傾け、参考としなければならぬ内容のものでした。

また、最後に中学生の皆さんが感謝の気持ちを込めて、合唱曲「予感」を歌ってくださいました。限られた練習時間にもかかわらず、その素晴らしい歌声が議場に響き、酒々井中学校の合唱に取り組み伝統の重みが感じられました。



中学生模擬議会議員名簿

議席番号	氏名	学年組
1	むらやま あいら 村山 藍来	3年1組
2	おのぎ あかね 小野木 紅音	3年1組
3	こまつざき ゆうき 小松崎 祐樹	3年2組
4	えぐち つづみ 江口 つづみ	3年2組
5	ささき つよし 佐々木 剛志	3年3組
6	いとう あいり 伊藤 藍莉	3年3組
7	おおたに こうへい 大谷 航平	3年4組
8	おおかわ さき 大川 紗季	3年4組
9	おおさわ ゆうき 大澤 優輝	3年5組
10	さとう もえか 佐藤 萌加	3年5組
11	にしだ さやか 西田 彩花	3年1組
12	みやら しゅう 宮良 愁	3年2組
13	たけい なぎさ 武井 渚	3年4組
14	こいけ ひかる 小池 光	3年1組
15	てらぞの じゅんま 寺園 純真	3年1組
16	きたみ かずや 喜多見 和哉	3年2組

* 16番喜多見議員は議長

12月定例会の
お知らせ

次の定例会は12月上旬に開会する予定となっております。

会期の概要は、11月28日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)